

ウッドデッキ・あずまや・ベンチのデザイン塗装

【建設工学科3年 荒山琴音・有馬美羽・大坪久珠・折戸彩桜・小林美衣・山元菜月】

1 はじめに

課題研究のテーマを校内整備とし、中庭にあるウッドデッキをはじめあずまや、ベンチなど歴代の先輩方が製作した作品をより良く、そして長く残していけるようにとデザインし塗装をすることに決めました。

2 概要

実際に自分たちの課題研究作品を何にするかを考えていたときに、先輩方が製作した中庭のウッドデッキ、あずまや、ベンチに塗装がされていないことに気が付き、せっかくの作品を長く、良く残していけるように塗装することにしました。



3 調査

1) 現場の調査

- ・中庭にあるウッドデッキ等の調査を行った。板と板の間に隙間はあまりなかったので、デザインを決めるうえではあまり問題はないと思った。また、一部金具が外れ、床が抜けそうな所があり、修理が必要だと感じた。
- ・あずまやの鉄骨部分がさびていた。ウッドデッキの周りは芝生で中庭全体を見ると影が多く少し暗めの印象だと感じた。

2) 計画

- ・ウッドデッキ、あずまや、ベンチの塗装を行うことに決めた。修理の方では、踏み台を製作することに決めた。
- ・あずまやの鉄骨部分は、錆を取り除くことにした。また、中庭全体が暗い印象なので、明るくなるようにデザインし着色することにした。



3) ウッドデッキのデザイン

- ・中庭全体や、周りの芝生から浮かないように、派手すぎないデザインや使用する色を優しい色にするなど調和することを意識した。また中庭全体が明るくなるように明るい色を使用することにした。

4 作品の修理・塗装

1) 「踏み台」の製作

- ・木材倉庫からウッドデッキに使用されている木材と同じものを探し、2×8の踏み台にするため、加工し制作した。
- ・床が抜けそうな所に覆い被さる様に配置し、釘打ちをした。

2) 「ウッドデッキ」の清掃

- ・ウッドデッキの上にある落ち葉などは箒で掃除し、表面の汚れはデッキブラシを使用し水で汚れを落とした。

3) 「ウッドデッキ」に下書き・塗装

- ・最初にベースとなる色を全体に塗り、その後考えたデザインをもとに、全体のバランスを見て配置を決め、下書きをした。用意した色の中から配色を考え、色を塗り進めた。



4) 「あずまや」「ベンチ」の塗装

- ・ウッドデッキの塗装で余ったペンキを使用し、中庭にあるあずまや・ベンチの塗装をウッドデッキと同様に行った。



5 仕上げ（ウッドデッキ）

1) スタンプ風のデザイン

- ・柄だけは少し物足りなかったため、自分たちのグループ名も入れたスタンプ風のデザインを取り入れた。



2) ニス塗り

- ・できるだけ長く持つように、最後に全体をニスで塗装した。

6 まとめ

過去の先輩方の作品に塗装するということがだったので、悪くしてしまわないか不安だったが、周りから浮くこともなく、中庭全体の雰囲気明るくすることができた。また、新たな大工のシンボルになったのではないかと満足している。今回の課題研究では、デザインや使用する色などにより、そのものや周辺の雰囲気も変えるということを知った。デザインや使用するペンキの色決めでは、周りとの調和も意識しないと浮いてしまうので、現地調査を行い、その場所・目的に合わせたデザイン・色を決めることがとても大切だと感じた。



7 感想

ウッドデッキのデザイン塗装では、同じグループのメンバー一人ひとりの強みや得意な部分を生かしていきながら進めていくことで、効率良く進めていくことができた。デザイン決めでは、周りの雰囲気に合ったデザインを考える



のが難しかったが、日常生活の中にあるいろいろなデザインを持ち寄り、話し合いをしてデザイン決めをすることが出来た。塗装では、ペンキで塗るときにムラができないようにぬることが難しかった。柄は、あえて下書きをせず、個々の感性で描き進めていった。全体のバランスを見ながら話し合い、配置や色を決めたのでバランス良く、思ったよりうまくできたと思う。完成後はありがたいことに多くの先生や周りの生徒から「あれいいね」と声をかけてくださる機会が増え、改めて課題研究でベンチ等の塗装ができて良かった。新たな大工のシンボルとして残っていく作品になると嬉しい。

